

- 問1 ヨーロッパ各国の宗教分布を比較したとき、イタリアとフランスに共通する特徴について述べた文として、適切なものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）
1. 地中海に近い地理的条件から、イスラム教を国教として採用している国が多い。
 2. 東ヨーロッパ諸国との交流が盛んなため、正教会を信仰する人が最も多い。
 3. キリスト教のプロテスタントが主流であり、ノルウェーやスウェーデンと同じ傾向にある。
 4. キリスト教のカトリックが広く普及しており、北欧諸国とは異なる傾向にある。
- 問2 ヨーロッパ州の主要国における産業の特徴について、統計上で年間8000万人を超える外国人旅行者が訪れる世界的な観光大国であり、かつ小麦の生産量が3800万トンを超えて欧州最大級である国を選びなさい。（2018年 愛知県公立入試 類似）
1. イギリス
 2. フランス
 3. イタリア
 4. ドイツ
- 問3 1993年にマーストリヒト条約が発効されたことにより発足した、ヨーロッパ諸国の政治・経済的な統合を目指す組織の名称として正しいものはどれか。（2023年 岐阜県公立入試 類似）
1. APEC（アジア太平洋経済協力）
 2. NATO（北大西洋条約機構）
 3. ASEAN（東南アジア諸国連合）
 4. EU（ヨーロッパ連合）
- 問4 ある高緯度地域の地点における気象統計をまとめた資料において、最寒月の平均気温が0度を下回らず、年間を通じて一定の降水量が確保されていることが確認できました。この地点に該当する可能性が最も高い国と、その要因の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. ロシア（シベリア地方） — 季節風（モンスーン）の影響
 2. ノルウェー — 北大西洋海流（暖流）の影響
 3. エジプト — 地中海を渡る湿った風の影響
 4. カナダ（内陸部） — 北極海からの寒気の遮断
- 問5 2000年から2012年にかけて、ポーランド、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリーの4か国からドイツへの人口流入数が増加しました。この統計と、ドイツの1人あたりの国内総生産がこれら4か国を大きく上回っているという事実から推察される、現代ヨーロッパの状況として適切なものはどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）
1. EUの共通政策により、すべての加盟国の1人あたりの国内総生産が4万ドル以上に統一された。
 2. 東欧諸国からの人口流出が止まらないため、ドイツは2012年以降EUからの脱退を表明した。
 3. 経済発展の遅れた西欧諸国の労働者が、経済成長の著しい東欧諸国へと移住している。
 4. EU加盟国間の経済格差を背景に、所得の高い国へ労働力が集中する傾向がある。
- 問6 アフリカ大陸の南部に位置する南アフリカ共和国の経済的な特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
1. ASEANの中心的な国として、近年は電子機器や半導体の輸出を急速に伸ばしている。
 2. 広大な土地を利用した大豆の栽培や、鉄鉱石などの資源輸出が経済の柱となっている。
 3. 金やプラチナなどの豊富な鉱産資源の産出に加え、アフリカ州の中で工業化が進んでいる。
 4. 1人あたりの国民総所得は世界最高水準であり、輸出のほとんどを原油などのエネルギー資源が占める。
- 問7 欧州連合（EU）において、一人あたりの国民総所得が相対的に低い東欧諸国が加盟したことで生じている、経済的な事象として正しいものはどれですか。（2017年 山口県公立入試 類似）
1. 賃金の安さを求めて、西欧諸国の企業が東欧諸国へ工場を移転させる動きが見られる。
 2. 東欧諸国の所得水準に合わせて、西欧諸国の一人あたりの国民総所得が年々減少している。
 3. 加盟時期による経済格差を解消するため、すべての加盟国の所得を強制的に平均化する制度が導入された。
 4. 東欧諸国の豊かな資本が西欧諸国へ投資され、ヨーロッパ全体の経済成長を支えている。
- 問8 ライン川流域において、古くから工業が高度に発達した理由を述べた文として、地理的な背景から見て最も適切なものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 水深が深く流れが穏やかなため、内陸部まで大型船舶による原材料や製品の大量輸送が可能であった点
 2. 乾燥地帯を流れる外来河川であり、広大な砂漠地帯に大規模な工場用地を確保しやすかった点
 3. 季節による流量の変化が激しいため、雨季に蓄えた大量の水を工業用水として年間通じて利用できた点
 4. 河川の勾配が非常に急であるため、大規模な水力発電による安価な電力を工場に供給しやすかった点
- 問9 二〇二二年の主要国の発電事情に関する資料において、総発電電力量が五千七百七十三億キロワット時であり、その内訳が化石燃料四十五・九パーセント、再生可能エネルギー四十一・〇パーセント、原子力が三・〇パーセント以下となっている国があります。比較される主要国の中で再生可能エネルギーの発電割合が最も高いこの国はどこですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. フランス
 2. アメリカ合衆国
 3. 日本
 4. ドイツ
- 問10 EU（欧州連合）には、デンマークなどの古くからの加盟国と、2004年以降に加盟した東ヨーロッパやバルト海沿岸の国々が混在しています。これら加盟国間で見られる「一人あたりの国民総所得」の特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. 古くからの加盟国は、後から加盟した国々よりも経済成長にともなう所得の増加率が高いため、EU内の経済格差は拡大し続けている。
 2. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国に比べて一人あたりの国民総所得が低だけでなく、加盟後の経済成長も停滞し、数値が減少している。
 3. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国よりも一人あたりの国民総所得が高く、さらに経済成長による数値の増加率も極めて高い。
 4. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国に比べて一人あたりの国民総所得は低いが、その後の経済成長による数値の増加率は高い傾向にある。
- 問11 アメリカ合衆国の社会・経済的特徴について、その人口密度と1人あたりGDP、および貿易の傾向を正しく説明しているものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 人口密度は1平方キロメートルあたり116人程度であり、1人あたりGDPは欧米諸国の中で最も高く、自動車輸出の唯一の主要品目である。
 2. 人口密度は1平方キロメートルあたり200人を超えており、1人あたりGDPは先進国の中でも平均的で、医薬品が輸出の第1位である。
 3. 人口密度は1平方キロメートルあたり32人程度と低く、1人あたりGDPは5万ドルを超える非常に高い水準にあり、機械類や石油製品を主に輸出している。
 4. 人口密度は1平方キロメートルあたり4人程度と極めて低く、1人あたりGDPは高いが、農産物のみが輸出の大部分を占めている。
- 問12 混合農業の仕組みや特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
1. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、冬の降雨を利用した小麦栽培を組み合わせる。
 2. 季節によって家畜とともに低地と高地を移動し、自然の草地を効率的に利用する。
 3. 大都市向けの乳製品を供給するため、穀物栽培は行わず乳牛の飼育と牧草の生産に特化する。
 4. 栽培した穀物の一部を家畜の飼料とし、家畜の糞尿を肥料として耕地に還元する循環型の農業である。